

『きみたちの魔法—化学「新」発見』展

2011年11月19日(土)～27日(日)
日本科学未来館7階イノベーションホール



形状記憶合金—まげてももどる—

曲げたり捻ったりした針金に、ドライヤーの熱風をあてると、くねくねと動きながら元の形に戻ります



感熱色素—ひやすとみえる—

真っ白な台の上に氷を置くと、台が虹色に変わります。色のついた台に手の平を置くと真っ白な手の形がつけます。



偏光板—まげるとみえる—

フィルターを通して見ると、透明なペットボトルやCDケースに虹色の模様が見え、板を曲げたりひねったりすると虹色の模様が変化します。





反射防止フィルム—あるのにみえない—

穴が開いているように見えるのに、ボールが穴の上を通り過ぎていく。2つだけある本当の穴を探してボールを転がすゲーム。



フォトクロミック材料—ひかりでいろがかわる—

透明なフィルムに紫外線のビームを当てると、赤い色に変わります。





香料—においをつくる—

食べ物、たき火、新車、お寺、身近なにおいを化学で再現。



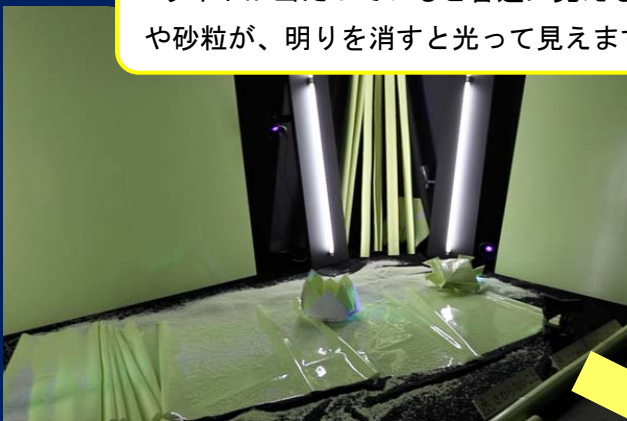
衝撃吸収材—ちからをすいとる—

普通の床では跳ねるゴルフボールや木のボールが、この板の上では鉄の玉のようにボトッと落ちます。

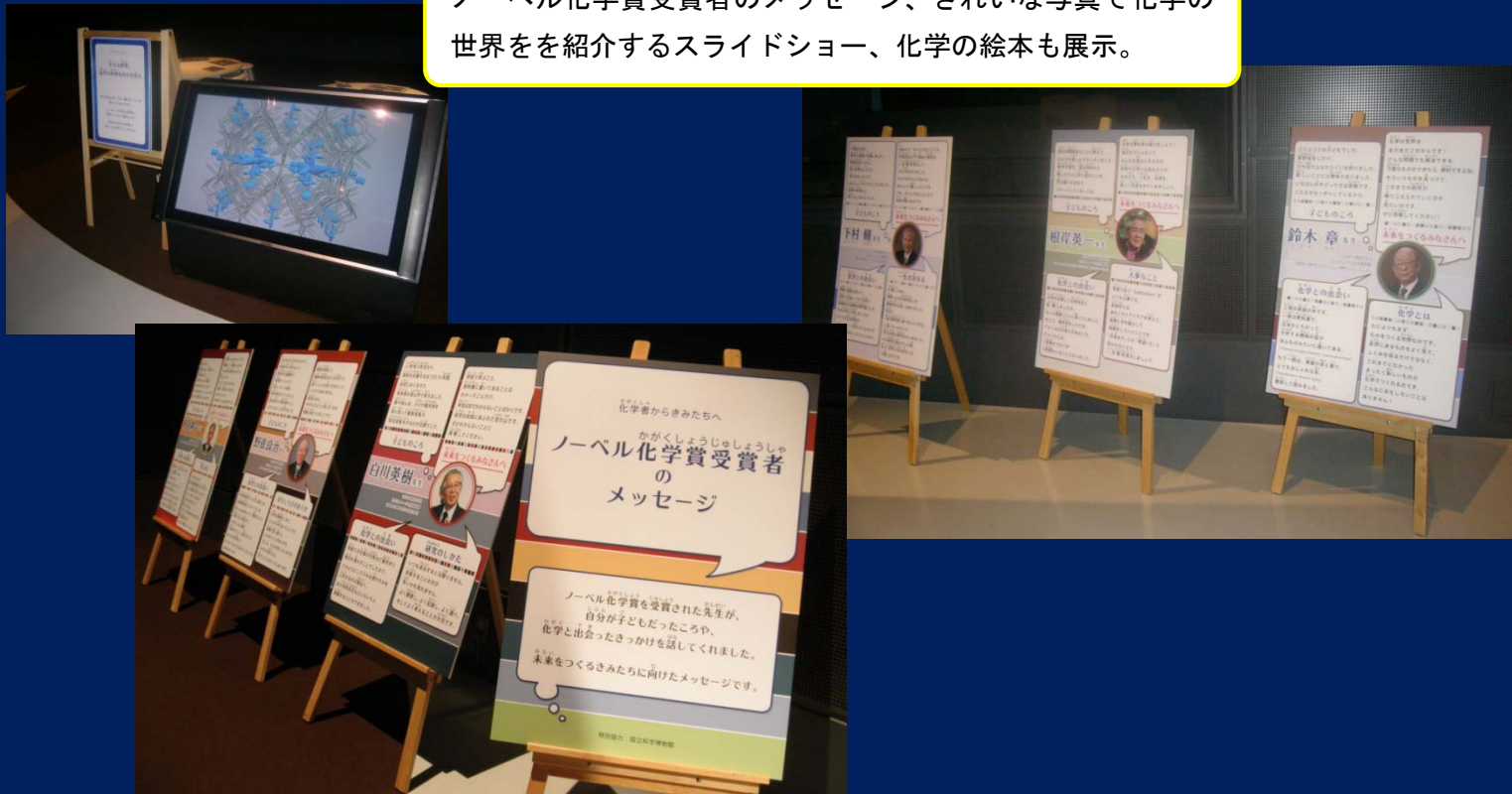


蓄光材料—ひかりをためる—

ライトが当たっていると普通に見える白いビニールや砂粒が、明りを消すと光って見えます。



ノーベル化学賞受賞者のメッセージ、きれいな写真で化学の世界を紹介するスライドショー、化学の絵本も展示。



11月26日(土)、27日(日)には廣木一亮博士による“解説はかせ”、各コーナーの展示を解説するミニトークを開催。

